

やなぎみわ展 神話機械

MIWA YANAGI: Myth Machines

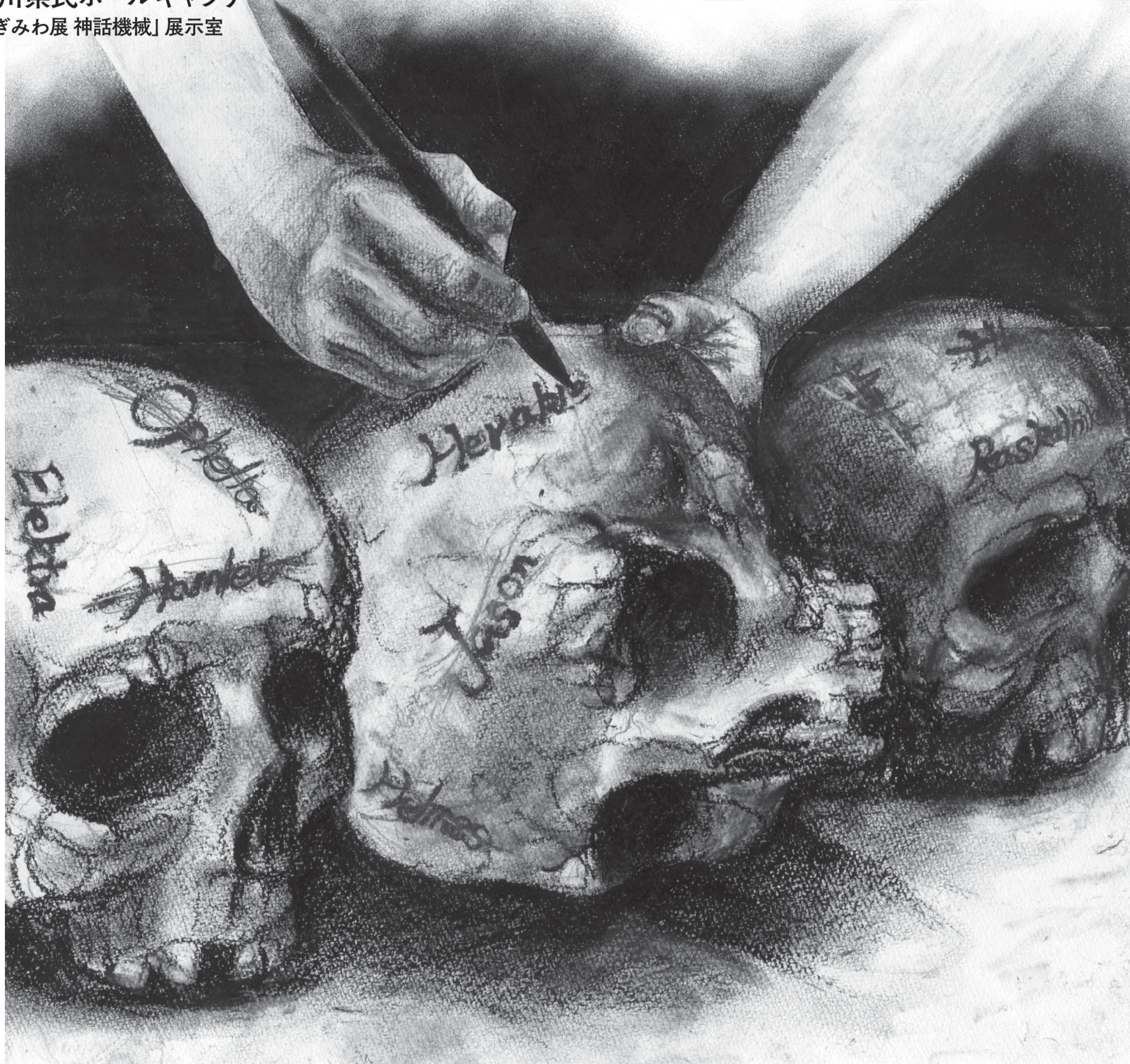
ライブパフォーマンス“MM”

2019年11月29日(金)、30日(土) 19:30開演

神奈川県民ホールギャラリー

「やなぎみわ展 神話機械」展示室

MM



構成・演出: **やなぎみわ**

原作: **ウィリアム・シェイクスピア**

ハイナー・ミュラー

出演: **高山のえみ**

音楽: **内橋和久**

舞台監督: 黒飛忠紀(幸せ工務店)

音響: 高田文尋(ソルサウンドサービス)

メインマシン照明デザイン: 藤本隆行(Kinsei R&D)

宣伝美術: 木村三晴

制作: 清水聡美

協力: 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター、ウルトラファクトリー
※本プロジェクトは、JSPS科研費JP17H00910に関連する作品です。

作品引用:

ウィリアム・シェイクスピア『ハムレット』

ハイナー・ミュラー『ハムレットマシーン』

(岩淵達治 谷川道子・訳 | 未来社)

『メディアマテリアル』

(岩淵達治 越部暎 谷川道子・訳 | 未来社)

提携: TMP 多和田葉子/ハイナー・ミュラー・プロジェクト

モバイル・シアター・プロジェクト《Myth Machines》製作メンバー

●メインマシン《タレイア》

実機製作: 政岡恵太郎・宅和広樹

●振動マシン《テルプシコラー》

香川高等専門学校機械電子工学科 逸見研究室

教員: 逸見知弘

学生: 根来良如

●のたうちマシン《メルボメナー》

群馬工業高等専門学校機械工学科ロボット工学研究室

教員: 平社信人

学生: 田村涼一郎・菅原達弥・岡田颯太・藤井智哉・飛坂隆太

小澤裕太・菊池啓亮・入澤宏太郎・小野塚隆太・武藤大和

鈴木颯太・代悠人・峯岸宏典

●投擲マシン《ムネーメー》

福島県立福島工業高等学校

教員: 吉田健・片平仁

学生: 鈴木詩子・三瓶 晃・高橋和也・菊池くるみ・紺野孝天

伊藤航・真木麗子・雉子波智・亀田勇人・鈴木愛梨

加藤大祐・紺野雄太・佐々木海人・佐々木悠介・吉田慎平

助成: 子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業

協力: 被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会

●髑髏製作

京都造形芸術大学 ウルトラプロジェクト

学生: 奥山愛菜・相樂優果・徳永千紗・長谷桃伽

細川楓華・柳生梨音・和田尚樹

髑髏製作: 吾郷泰英

髑髏製作助手: こばやしけんいち

衣装協力: 南裕子

神奈川県民ホール ギャラリー

Kanagawa Prefectural Gallery

<https://www.kanakengallery.com>

わたしはイアソン。
わたしはメディア。
わたしはヘラクレス。
わたしはオイディプス。
わたしはオフィーリア。
わたしはハムレット。
この骸骨にも舌があったはずだ。
歌もうたえただろう。
…おやおや、またどこかで
ハムレット劇が始まった。



投げつけたり、震えたり、のたうったりを、永遠に続けるマシンたちは、人間がいてもいなくてもその演技を止めることはありません。そして、照らし、奏で、語る、神話機械「タレイア」。わがトレーラー「花鳥虹」は、歌と物語を運ぶ箱であり、訪れた先々の人や神仏や歌と交合しますが、神話機械「タレイア」は、人外の場所をも照らします。物語も歌も存在したことがない荒野や氷上に悲劇や喜劇を立ち上げるための試みの第一歩です。◎マシンとともに神話機械の一部となるパフォーマンスに挑んでくれたボーダーレスな俳優・高山のえみさんと音楽家・内橋和久さんに感謝を。◎多忙な授業と研究の合間をぬって、神話機械の製作に長い時間と労力を注いでくれた高専と高校の生徒たち、見守り続けて下さった教員の方々、そして何より本日お越し頂いた皆様に心よりお礼を申し上げます。 やなぎみわ

◎高山のえみ

1977年生まれ、東京都出身。性別適合手術を受けたトランスジェンダーであり女優。主な出演舞台に木ノ下歌舞伎『勅進帳』PARCO『いやおうなしに』TBS赤坂ACTシアター『俺節』『忘れてもらえないの歌』、ドラマ『プリンセスメゾン』映画『ブルーアワーにぶっ飛ばす』など。やなぎ作品は2017年『日輪の翼』に続いて二度目となる。

◎内橋和久

音楽家、即興演奏家として、世界を飛び回る一方で、演劇やダンス、映像のための作曲も数多く発表。歌のプロジェクトでは、UA、細野晴臣、Salyu、青葉市子、七尾旅人、Sainkho Namtchylakなどの個性的なシンガーと共演。劇団維新派とは31年。ベルリン在住。innocentrecord.com

◎政岡恵太郎(メインマシン)

1998年生まれ。10歳から自立型ロボットの国際的な大会であるRobo Cup Junior Soccer Leagueに参加。6度の世界大会にて複数回上位入賞。現在は子ども向けのロボット講座講師も務める。

◎京都造形芸術大学 ウルトラプロジェクト

京都造形芸術大学 ウルトラファクトリーでは、第一線で活躍するクリエイターを迎え、彼らの制作の現場から発表に至るまで一部始終に関わる実践演習「ウルトラプロジェクト」を実施。各都市のチームと遠隔ミーティングをしながらの艦装製作の補助や、展覧会開催に向けた準備等に取り組み、展覧会が出来上がるまで作家の間近で経験している。

◎群馬工業高等専門学校 機械工学科 ロボット工学研究室(のたうちマシン)

人間社会に貢献するため、革新的技術の開発・定式化を目標として、航空宇宙工学、ロボット工学、制御工学などの分野において研究・開発を行っている。現在、JAXAにおいて2020年度打ち上げ予定である「革新的衛星技術実証2号機」に搭載される「高専連携衛星1号機：KOSEN-1」の機体開発、製作を行っている。

◎香川高等専門学校 機械電子工学科 逸見研究室(振動マシン)

制御工学やロボット工学に関する研究を行っており、これまでの研究では地元企業との「暗渠水路検査ロボット」や地元自治体との「下水道管検査ロボット」、他の研究室や音楽家と合同での「文楽ロボット」の開発の実績がある。

◎福島県立福島工業高等学校(投擲マシン)

福島県内の工業高校の中でも基幹校として高いスキルの習得を目指している。今回美術館より話のあったロボット製作は、美術部で受けた内容を情報電子科、機械科、建築科の力を結集して創り上げることができた。ロボット等の全国大会も数多く出場しており、機械科の「エコチャレンジ」や建築科の「ものづくり全国大会」等でも優秀な成績を収めている。

◎京都工芸繊維大学 ROBOCON 挑戦プロジェクト(メインマシン試作機)

「NHK学生ロボコン」に2007年から参加。現在6年連続、計10回の全国大会出場実績を持つ。本大会ベスト8進出のほか、2017年には技術賞とローム特別賞をW受賞。今年で第9回目となる企業と連携したロボコン開催や、自治体からの依頼を受け小中学生向けのロボット教室も開催している。活動やロボットはTV・新聞・技術雑誌等でも紹介されている。

やなぎみわ展《神話機械》巡回スケジュール

◎高松市美術館〈終了〉

展覧会：2月2日(土)～3月24日(日)
ライブパフォーマンス：2月2日(土)・3日(日)19:00開演
香川県高松市紺屋町10-4 TEL 087-823-1711

◎アーツ前橋〈終了〉

展覧会：4月19日(金)～6月23日(日)
ライブパフォーマンス：5月17日(金)・18日(土)19:30開演
群馬県前橋市千代田町5-1-16 TEL 027-230-1144

◎福島県立美術館〈終了〉

展覧会：7月6日(土)～9月1日(日)
ライブパフォーマンス：7月13日(土)・14日(日)19:30開演
福島県福島市森合字西養山1番地 TEL 024-531-5511

◎神奈川県民ホールギャラリー

展覧会：10月20日(日)～12月1日(日)
ライブパフォーマンス：11月29日(金)・30日(土)19:30開演
神奈川県横浜市中区山下町3-1 TEL 045-633-3795

◎静岡県立美術館

展覧会：12月10日(火)～2020年2月24日(月・振休)
ライブパフォーマンス：12月21日(土)・22日(日)19:30開演
静岡県静岡市駿河区谷田53-2 TEL054-263-5755

※詳細は各美術館のHPで告知します。ご確認のうえご来場ください。